



4/5(水) 春の全国交通安全運動出発式

浦添市役所市民広場で交通安全出発式が行われました。

「青信号 しっかりかくにん わたろうね」をスローガンに掲げ、安全・安心なまちづくりのために、市民の皆さんに交通のルールやマナーの再確認を呼びかけました。

出発式では、浦添市内の各小学校へランドセルカバーや反射材付き体育着袋、「イカのおすし」下敷きが贈呈されました。また、新一年生の平識世名くんと辺士名綾星ちゃんが「僕たち、私たちは車をよく見て横断歩道を渡ります」と元気いっぱい交通安全宣言をすると、会場は温かな笑顔に包まれました。



4/13(木) 行政相談委員へ総務大臣感謝状

長年にわたり、行政相談委員を務めあげた山川重子さんと内間真理子さんに、総務大臣から感謝状が贈られました。二人は豊かな経験と知識を生かし、市民からの行政に関する相談を受け「行政と市民の架け橋」として活動してきました。感謝状を手にした二人は「困っている人が多い。ほとんどの相談が何年もかけて解決する複雑なものだった。」と、これまでの活動を振り返りました。

また、同日新たに委員として委嘱された与那原孝さんと山里時子さんからは「前任者のような市民から頼られる相談員になりたい」と抱負を語りました。



4/14(金) 空泳ぐこいのぼりに子どもたちの笑顔溢れる

浦添市役所玄関前広場で子どもたちの健やかな成長を願う「こいのぼり掲揚式」が行われ、会場にはたくさんのお子さんが集まりました。

曲に合わせて徐々に高く揚がっていくこいのぼりを見上げて、はしゃぐ子どもたち。元気いっぱいにこいのぼりの歌を歌ったり、ダンスを踊ったり、最後にはプレゼント配布も行われ会場は大いに盛り上がりしました。

朝から掲揚式を楽しみにしていたという、あさのうら保育園の友寄隆都くんは「こいのぼりを揚げられて楽しかった」と笑顔で話しました。



4/16(日) 地元歴史文化の復元に、地域住民が祝福

浦添市安波茶には安波茶樋川(フィージャー)と呼ばれる市指定史跡の湧き水があり、約300年前から周辺住民の生活を支えてきました。湧き水が減少傾向にあり、周辺住民からの要望を受けて市で復元整備を進め、見違えるほどに水が湧き出るようになりました。

復元落成式には関係者をはじめ周辺住民の皆さんも参加し、笑顔で復元を祝いました。会場にいた比嘉愛子さんは「水が出にくくなって、どうにかならないものかと思っていたけど、復元できて本当によかった」と嬉しそうに語りました。



4/11(火) ワクワクとドキドキの入園・進級式

浦添幼稚園をはじめ市内の幼稚園で入園・進級式がありました。当日は入園・進級園児だけでなく多くの保護者も同席し、わが子の晴れ姿を見て喜んでいました。

初めての幼稚園に緊張気味の園児もいましたが、年中から年長クラスへ進級する在園児の元気な返事や大きな歌声に緊張もほぐれた様子で、式終了時には大きな声で「ハイ」と言えるようになりました。

浦添幼稚園で進級する仲里こうすけ君に今年頑張りたいことを聞くと「友達をいっぱい作る!」と元気に答えてくれました。



4/3(月) 4月新年度スタート。フレッシュな風が吹く

浦添市役所に17人の新人職員(行政職12人、技術職3人、消防職2人)が採用され、4月3日辞令交付式が行われました。

新人職員の皆さんは、緊張が伝わる程の面持とごちなさを見せながらも、しっかりと前を向いて入場し、それぞれの名前が呼ばれると元気よく「はい!」と返事し辞令を受け取りました。

市長の訓示を真剣な眼差しで聞き、新職員を代表してあいさつをした水野泰誠さんは「公務の責任の重さに身が引き締まる思い。市民にとってより暮らしやすいまちを作っていきたい」と決意を述べました。

市議会 正・副議長決定

第187回浦添市議会臨時会において、市議会議長に島尻忠明氏、副議長に下地秀男氏が決定しました。



島尻忠明氏
50歳 宮城在
平成9年浦添市
市議会議員に
初当選
(議員歴18年)



下地秀男氏
59歳 内間在
平成5年浦添市
市議会議員に
初当選
(議員歴24年)

監査委員決定

第187回浦添市議会臨時会において、上江洲徹也氏、友利瑞枝氏が監査委員に決定しました。



上江洲徹也氏
60歳 牧港在
平成21年浦添市
議会議員に
初当選
(議員歴8年)



友利瑞枝氏
44歳 宮城在
平成11年税理士
登録
平成19年より
友利勇栄税理士
事務所勤務